

みなしご通信



広島県が一致団結 呉TNR

今年もやりましたよ！

広島県が一致団結して行う 呉TNR一斉。広島市・呉市・福山市・広島県。この四つのセンターの獣医師たちによるTNRです。一応(笑)主催は犬猫みなしご救援隊。それにしてもこうやって見ると私って上から頭を打たれてコクンと縮んだような体形のおばちゃんなんじゃねえオモロイ(笑) 会場内には前の所長や前



の前の所長とかも居るから 『ちよっと所長！』と呼ん

だら6人も7人も返事をす るわけで(笑)こんがらが るからファーストネームが いってことになり「ひろゆ き！」と呼んだりして終始 楽しかったです。でなぜか みなしごTシャツを着て (笑)この日のためにHPか ら購入したんだそう(笑) 今回の働き手は公務員が 95%だからまあ働く働く！ 根っから真面目じゃけ一回 教えたなら丁寧に仕事をして くれるので私的には一番ラ クチンなTNRです。私の 夢は広島県内の四つのセン ターすべてで完璧な手術が できるようになることです。 そして職務としてTNRの 手術をすること。営利目的 の獣医師会に頼るのではな くセンターの職員が勤務時



間内に手術をする…これが 一番《安上がりで》一番 《信用がおけます》から。 みんながみんな完璧な手術 ができるようになるまであ と何年かかるじやろうか。 かつて山口先生は言いまし た「1000匹手術してよ うやく一人前」と。広島県 内のセンター職員、目指せ 1000匹！

今年の呉TNRに私が参 加依頼をかけた民間獣医師 は千葉先生だけです。千葉 先生とは長い付き合いにな りましたねえ…。おとなし そうに見えてこの厳しい私 について来れるぐらいなの で相当な根性があると思っ ますよ(笑)そんなこんなで

合鴨∞ループ

どこに行ってもTNR一斉 は楽しいです♪

合鴨は1羽になると寂し がつて食欲が落ちどくにも ならなくなりませす。そのた びに私は新しい合鴨をもらっ てきていて永遠に合鴨飼育 は続く感じだす。9月に1 羽が亡くなると、翌日から 残ったヨン子が食べなくなっ たので超特急で合鴨探しを して広島北の町に合鴨が いるとの情報を得て早速い ただきに参りました。

おる！おる！どの子にす るかなんて私には選べない ので飼い主のおじいさんに お任せしました。そしたら 持って行っていたケージに オス・メスが1羽ずつの計 2羽が入ってしまった、どち らかを選べなかつた私は 『2羽でもええよ』と発言。 この判断が運のツキ。

連れて帰ってヨン子に会 わせるとヨン子は大喜びで 仲間が来た！とそばに行っ たのですが、そもそも新し く来た2羽は《家族》なの



でヨン子を寄せ付けけないの だす！困った、これじゃま ったく意味がない。ヨシ！ 私は再び車を走らせおじい さん宅に行き『もう1羽ちょ うだい！今度は絶対に1羽 だけにしてください！』ケー ジに入ったのが男の子でし た。私的には年齢も性別も 重要ではありません。結局 ヨン子とサブロウ、イツ子 とジロウに分けて飼うこと に。なにやっとなんやの世界 だす(笑)

それから2ヶ月が経ち2 組のアフラックたちは仲良 く暮らしております。運動 場までちゃんと自分の足で 歩いて移動してませす。もう

1組も来しました。今いるこの4羽が同時に亡くなることは考えづらく、必ず誰かが最後の1羽になるわけで2013年だったかな。長野県佐久市の山の中の池に捨てられた合鴨3羽を引き取ったことから始まったアフラック無限ループ、どくしましよねえ。

井戸寺の水面

もう30年も前の話ですが私が仏教徒になったところ不思議なことが連続して起きました。急に光が見えたり声が聞こえたり意識とは別に足がそつちに向かったら猫が倒れていたたり。それは私だけでなく田原くんにも不思議なことが起きそれで私は仏さまのチカラを信じるようになり「適当ながらも」私なりに仏教を勉強するようになりました。宗派は気にしないで京都のあらゆるお寺に毎週日曜日に通って写経したり座禅をしたり観音霊場をまわったりお四国八十八ヶ寺巡礼を始めたり※旅行気分なので修

行とは全然違います。

お四国巡礼で17番札所の井戸寺には弘法大師・空海が掘ったと言われる井戸があつて「この中の水に顔が映ったら3年間災いなく過ごせるが顔が映らなかつたら3年後に死ぬから」という話でした。私も普通にそのときに参拝していた6

7人に交じって井戸を覗いたらなんと！私の顔だけ映りませんでした！それから3年間私はそりやくものすごく気をつけて生活しましたよ。40代半ばだったしまだ死にたくなかつたんでね(笑)そして3年が過ぎようとした2011年3月11日、東日本大震災が起きたのです。

それまでの私はどう仕事をサボるか、どうラクをしてお金が稼げるか、来週の京都では何を食べるか、このバッグもあのバッグも欲しい。底なしの欲望を満たすことしか考えんクソ人間だったから、あのときの私は井戸寺の言い伝え通り3年目で死んだのです！あんな

なヤツ死んで正解つすよ

(笑)マジでそこから人が変わわり、よう働き始めるわく欲しいものはなんにもなくなるわく着飾らなくなつて暇さえあればあんなに見て鏡も一切見んしそもそも鏡を持つてもないし(笑)

30年後の二人

こないだ岐阜大垣に行ったとき野村まりが「よく外国人が同じ場所で同じポーズをとつて10年後くみたいな写真を撮つてるように中谷さんと田原さんも昔の写真と同じポーズをとつて30年後くつてブログに載せてよ！絶対おもしろいと思うのよね」と言うので

『やつてもええけど私たちの昔の写真はネットに出てるだけで私が持つてるわけじゃないんで見本がないんよね』あ！7月のミケ公演の時に三宅島にゃんこの会がうちわを作つて来たねえそれを持つてるから見なからやるか！そして実際やりましたよ！ヒマか(笑)これこれ(笑)いかに強

く見せたいガキ男といかに腹黒そうな水商場の女ね(笑)この女、根性が悪そう顔しとるから近寄つたらダメ！絶対！そして左が：30年後の姿です。



本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人 (特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
 www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金

▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。